

埼玉県郡市医師会・在宅医療連携拠点(2025.8.28)

埼玉県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 説明会

埼玉医科大学国際医療センター
埼玉県

埼玉県説明資料

令和7年8月28日

埼玉県保健医療部疾病対策課

1 循環器病対策基本法 *

* 健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病
その他の循環器病に係る対策に関する基本法

循環器病が国民の**疾病による死亡の原因**及び**介護を要する状態となる原因**

の主要なものとなっている等、

国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状に鑑み、

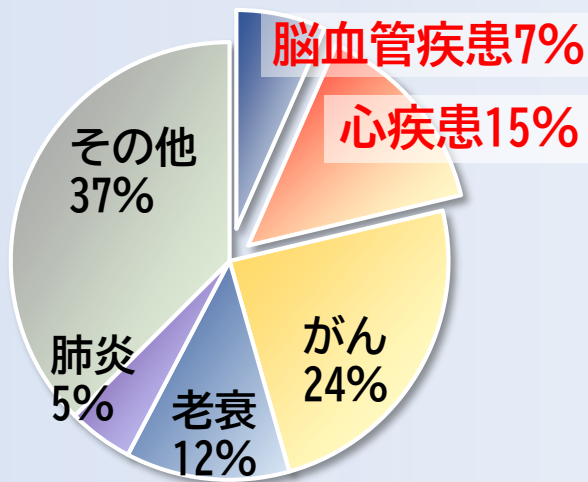
循環器病対策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定。

(令和元年12月1日施行)

対策の目的

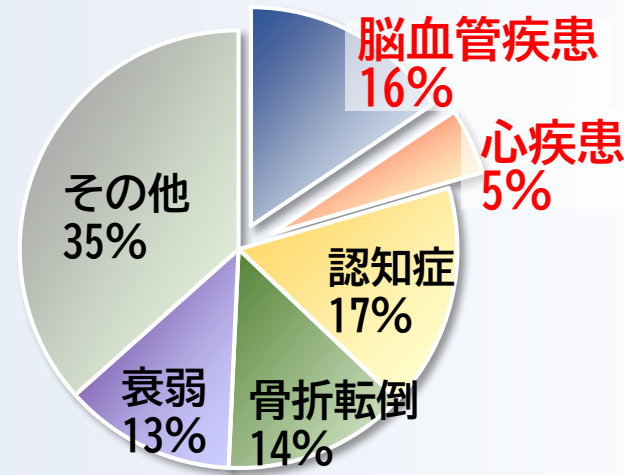
循環器病の予防に取り組むことにより、
国民の健康寿命の延伸、
医療・介護にかかる負担を軽減する
ための対策を計画的に推進する。

日本人の死因



2023年人口動態統計
(厚生労働省) より

介護が必要になった原因



2022年国民生活基礎調査
(厚生労働省) より

2 埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画

第2期 埼玉県循環器病対策 推進計画

事業期間 R6～R11

脳卒中及び心筋梗塞等の発症予防・重症化予防に向けた生活習慣の改善や早期受診の重要性の普及啓発、急性期、回復期から社会復帰に向けた切れ目のない医療提供、リハビリテーションを通じ、患者支援体制の充実に取り組む。

個別施策

- ① 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発
- ② 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実
 - a. 予防検診の普及・推進
 - b. 救急搬送体制の整備・医療提供体制の構築
 - c. リハビリテーション等への取組
 - d. 後遺症支援
 - e. 緩和ケア
 - f. 両立支援・就労支援
 - g. 小児期・若年期対策
 - h. 情報提供・相談支援
- ③ 循環器病の研究推進

2 埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進計画

全体目標

○ 健康寿命*の延伸

	令和3年 埼玉県	令和11年 県目標値
男 性	18.01	18.83
女 性	20.86	21.58

* 65歳に到達した人が
要介護2以上になるまでの期間

○ 循環器疾患の年齢調整死亡率の低下

		令和3年		令和11年 県目標値
		全 国	埼玉県	
脳血管 疾患	男 性	93.7	93.4	61.3
	女 性	55.1	58.0	37.9
虚血性 心疾患	男 性	72.8	101.9	71.7
	女 性	29.6	45.6	28.2

評価指標

○ 救急要請（覚知）から救急医療機関 への搬送までに要した時間

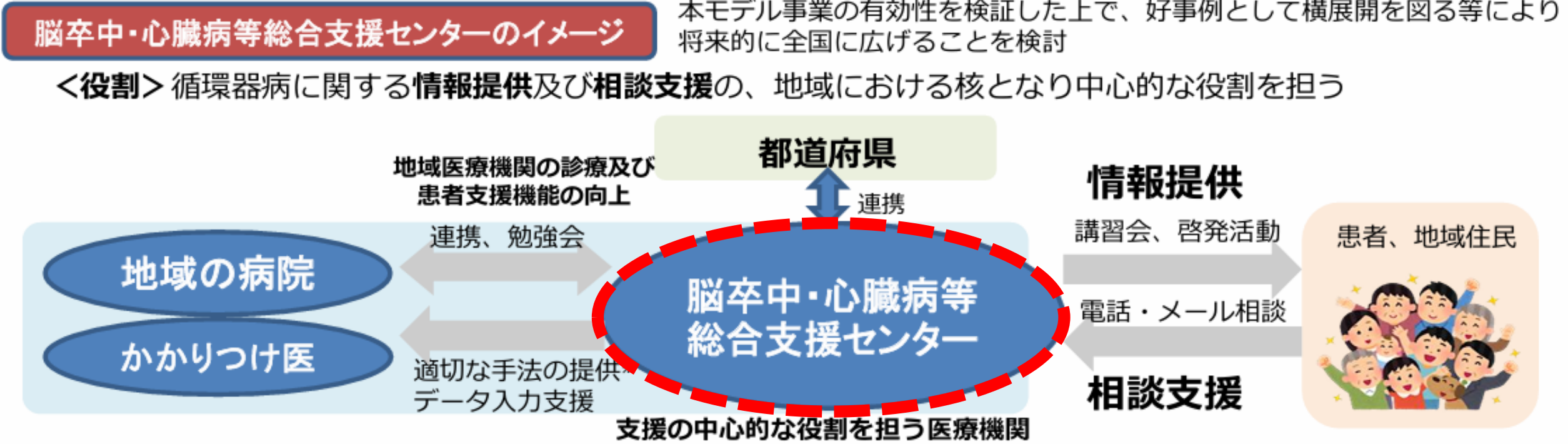
令和3年		令和11年 県目標値
全 国	埼玉県	
42.8分	47.4分	39.4分

○ 在宅等生活の場に復帰した患者の割合

	令和2年		令和11年 県目標値
	全 国	埼玉県	
脳血管疾患	50.0%	59.20%	62.16%
虚血性心疾患	93.0%	91.50%	93.0 %

3 脳卒中・心臓病等総合支援センター モデル事業

(厚生労働省ホームページより抜粋)



埼玉県では令和5年度に **埼玉医科大学国際医療センター** が
脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業として採択。
令和6年度以降も埼玉県循環器病対策推進協議会での協議により、
埼玉県脳卒中・心臓病等総合支援センターとして事業を継続。

3 脳卒中・心臓病等総合支援センター モデル事業

事業の目的

都道府県と連携し、地域の病院・かかりつけ医とも連携しつつ、患者や地域住民への情報提供、相談支援を行うことにより、地域の医療機関との協力体制を強化して、地域全体の患者支援体制を充実させる

事業の概要

都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の事業を行う。

相談窓口

○循環器病患者・家族の相談窓口の設置

普及啓発

○地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発

人材育成 地域連携

○地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会の開催
○相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
○その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

4 脳卒中・心臓病等総合支援センターの活用について

- 在宅部門の方は、対象者の生活環境を直接観察することで、
兆候や変化を早期に掴める場合がある。
早期の対応は、循環器病の重症化・再発予防に大きく寄与する。
- さらに、食生活や服薬など、日常生活の状況を把握し、介入することができる。
患者が適切な日常生活を送ることは、機能の維持につながり、
循環器病の重症化・再発予防に大きく影響する。
- これらのことをこれまで以上に着実に実現していくためには、
在宅部門スタッフの専門知識の更なる向上や地域連携の一層の強化が重要。

「脳卒中・心臓病等総合支援センター」をぜひ御活用ください。